

大塚国際美術館 開館 25 周年記念事業

追加展示 ゴッホ「夜のカフェテラス」

2023年3月14日から一般公開、常設展示

大塚国際美術館(徳島県鳴門市)は、おかげさまで2023年3月21日(火・祝)に開館25周年を迎えます。これを記念し、来春3月14日(火)からオランダを代表する巨匠、フィンセント・ファン・ゴッホが描いた「夜のカフェテラス」を陶板で原寸大に再現し、一般公開します。当館ではゴッホの7つの「ヒマワリ」をはじめ現在16点を常設展示していますが、今回の追加により計17点が一堂に鑑賞できます。今なお多くの人々を魅了し続けるゴッホの新展示にご期待ください。



ゴッホ「夜のカフェテラス」
1888年 油彩/カンヴァス 81×65.5cm
クレラー＝ミュラー美術館(オランダ、オッテルロー)
写真提供 ユニフォトプレス

「夜のカフェテラス」の舞台は、南フランス・アルルの中心部にあるフォーラム広場に建つカフェテラスです。当時、このカフェは実際に存在し、ゴッホが画家仲間とともに訪れた場所でした。

星が瞬く“青色”の夜空のもと、ガス灯に照らし出されたカフェテラスが“黄色”に輝いています。これは、ゴッホが得意とする色彩の対比で、黒を使わず夜景を描いたアルル時代を代表する傑作とされています。

彼は「自分が描いたヒマワリでアルルのアトリエを飾り、盟友ゴーギャンを迎えたい」と夢を抱き、1週間とかからず4枚の「ヒマワリ」を完成させました。その後、ゴーギャンが到着する前月の9月に本作を制作。画面中央の近づいてくる馬車に、到着への期待を託しているとも考えられています。

陶板名画は色彩が褪せることなく半永久的に保存できることから、原寸大での鑑賞体験はもとより文化財の記録保存の在り方に大いに貢献できればと考えています。

■ フィンセント・ファン・ゴッホ

1853年、オランダ南部の村フロート・ズンデルトに牧師の息子として誕生。聖職者を志すが挫折し、27歳の時に画家の道へ。画商の弟テオを頼ってパリへ、やがて南仏アルルへ移住。親友ゴーギャンと共同生活を始めるが2カ月で破綻。その後、精神を病みオーヴェール・シュル・オワーズで自ら命を絶ち、37歳で亡くなりました。10年という短い画家生活でしたが、その作品は多くの人に愛されています。



地下1階 “7つのヒマワリ” 展示室

写真) 当館は、2018年3月に開館20周年記念事業として、世界に点在するゴッホが描いた花瓶の「ヒマワリ」全7点を原寸大で再現、一堂に展示しています。

■ 大塚国際美術館 これまでの追加展示

公開日	作家名	作品名	所蔵先名
開館5周年記念事業 2003年4月25日	レオナルド・ダ・ヴィンチ	最後の晩餐(修復後)	サンタ・マリア・デッレ・グラーツィエ修道院、イタリア
2004年4月29日	フェルメール	真珠の耳飾りの少女	マウリッツハイス美術館、オランダ
開館10周年記念事業 2007年4月1日	ミケランジェロ	システーナ礼拝堂天井画完全再現	システーナ礼拝堂、ヴァティカン
2014年10月1日	ゴッホ	幻の「ヒマワリ」	1945年兵庫県芦屋市にて焼失
開館20周年記念事業 2018年3月21日	ゴッホ	ヒマワリ	個人蔵 ノイエ・ピナコテーク、ドイツ ナショナル・ギャラリー、イギリス SOMPO美術館、日本 フィラデルフィア美術館、アメリカ
	ゴーギャン	ヒマワリを描くゴッホ	ゴッホ美術館、オランダ
2018年11月3日	ゴッホ	タラスコンへの道を行く画家	1945年消失、マグデブルク、ドイツ
2019年3月30日	イスラエルス	ヴァン・ゴッホ「ヒマワリ」の前に立つ女	ゴッホ美術館、オランダ
2019年4月20日	フェルメール	ヴァージナルの前に立つ女	ナショナル・ギャラリー、イギリス
2019年10月1日	フェルメール	ワイングラスを持つ娘	ヘルツォーク・アントン・ウルリッヒ美術館、ドイツ
		地理学者	シュテューデル美術館、ドイツ
2020年4月21日	レオナルド・ダ・ヴィンチ	白貂を抱く貴婦人	チャルトリスキ美術館(クラクフ国立美術館分館)、ポーランド

大塚国際美術館

大塚グループ創立75周年記念事業として創業の地である徳島県鳴門市に設立した陶板名画美術館。世界26カ国の西洋美術を代表する名画1000余点を陶板で原寸大に再現し展示しています。美術書などで一度は見たことがある名画が一堂に会し、日本に居ながら世界の美術館を体験できます。

【住所】〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内
 【TEL】088-687-3737 【FAX】088-687-1117
 【URL】<https://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】9時30分から17時(入館券の販売は16時まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

1月は連続休館あり、その他特別休館あり*8月無休

*休まず開館:2022年12月27日(火)~2023年1月9日(月・祝)

*連続休館:2023年1月10日(火)~1月20日(金)

【入館料】一般3,300円 / 大学生2,200円 / 小中高生550円 *20人以上の団体は10%割引

世界の名画に、
出合える美術館



システーナ・ホール

《お問い合わせ先》大塚国際美術館 学芸部 吉本

TEL:088-687-3737 FAX:088-687-1117 MAIL:info@o-museum.or.jp

※ご来館に際し、必ずホームページの《安心・安全のための取り組み》をご一読ください